



元気っ子

No.244 ながさわ保育園

平成 29 年 12 月号

園 長 市 川 温 予

早いもので今年も残すところ一ヶ月になりました。朝晩はぐっと冷え込むようになりましたが、昼間の陽光は暖かく子ども達は元気に散歩に出かけたり、園庭で遊んだりしています。11 月は、“戸外で身体を動かし、自然に触れて遊ぶ”という保育目標をたてたクラスが多かったですが、どのクラスも達成できていたと思います。園庭や西の広場のどんぐりやしいの実など身近にある自然物を拾い集めたりする機会も多く、自然物で遊んだり製作をしたりと楽しんでいました。どんぐり一つでも子ども達にとっては大事な宝物です。りす組の子ども達も小さな手に「どんぐりあったよー」と握りしめた手のひらを見せてくれます。小さな手のひらに小さなどんぐりが一つ。なんとも可愛らしい姿です。大きいクラスになるとどんぐりの大きさ比べ、数比べ、種類を調べたりと生きた学習をしているなどと思います。こうして子ども達は遊びの中から、また関わる自然の中でいっぱい学習をしています。

11 月 21 日(火)にライオン組が津にみかん狩りに行きました。みかん園ではおばさんが待っていてくださり、みかんの収穫の説明を聞きました。子ども達はしっかり話を聞き、言われた約束を守って一個一個丁寧に取っていました。「この木のみかんは甘いよ」と実際に食べてみて感じた“甘い”という味覚を他の子に伝えたり、「下の方になっとるのはすっぱいよ」とそれぞれが感じたことを言葉で表現していました。収穫したみかんの色や大きさ、数など机上ではなく実際に自分達が体験していることを友達同士で話をする大切さをつくづく感じました。また、みかん狩りの後は中勢グリーンパークに寄り、お弁当を食べ、遊具で遊びました。先生の話の聞いたり、笛の合図で集まったり、きちんと並んで歩いたりとさすが年長児だと思いました。また、外のトイレの使い方を見ても手がかららず、きちんと並んで待つ、流す、手を洗う、自分のハンカチで拭くという一連の流れがとてもスムーズでびっくりしました。みかんも自分の手で収穫し、いっぱい食べていっぱい遊んで、子ども達は大満足の日だったと思います。このように子ども達は、自然の中で時の経つのも忘れ、夢中になって遊ぶ、遊ぶ、遊ぶことが一番大切なんだと思います。自然の中で身体をいっぱい動かし、身体を動かすことの楽しさを知っていくようにまた、子ども達の冒険心、好奇心が満たされ自分のやりたい遊びをたっぷりできるようにしてあげたいと心から思います。



これからは、来年の 1 月 25 日(木)に予定しています「おゆうぎ会」に向けての取り組みを楽しく、丁寧に進めていきたいと考えています。

12 月 29 日(金)から 1 月 3 日(水)まで冬休みとなりますので、よろしくお願いいたします。